

夕陽会便り

2014年8月20日発行（23号） 夕陽会広報部

夕陽会地域防災訓練（6月1日） 於：マンション雅叙苑



大崎第一地域センター防災訓練（予告）

今年の訓練は、昨年9月1日があまり暑かったので、遅くなります。

集合場所：目黒川 亀の甲橋

集合日時：11月16日（日）8時30分

訓練場所：第一日野小学校 第2グラウンド

区道路課との現地協議(その後の経過を含む)

6月19日、品川区道路課と夕陽会との間で、ドレメ通りの安全・防災についての現地協議を行った。

出席者:品川区防災まちづくり事業部道路課主査:秋山一朋氏、同道路維持担当(安全):渡邊真一氏
夕陽会参加者:浦山、佐藤、杉野、田中、七沢、西

ドレメ通り坂下から行人坂の入り口まで、歩きながら【より安全な通りに】について1時間半話し合い、風対策以外は2ヶ月以内に目処を立てるとの力強い言質を当日得た。七沢副会長(街づくり協議会会長)が専門知識を活かし、その後の交渉も含めて先頭になって活躍されたことを付記する。

1. ドレメ通り南 坂下のカーブ(GtBt 前)の歩行者安全対策

【カーブ内側に樹脂製のポールを3本建てる】

7月8日、下り方向右側歩道部分が、実質広くなるように施工され、車にとっては迷惑なポール位置であるが、歩行者最優先が貫かれた。区ではポールは消耗品と認識しており、車が引っかけても仕方がないという考えである。



2. マンホールの歩行者安全対策

【雅叙苑出口のマンホールが滑り易い、雨水枡からの水のオーバーフローが危険について対策を講じる】

マンホールの穴の長方向を、道路の方向と直角になるよう回転。ゴムの滑り止を挟んだりして様子を見ることにした。雨水枡はペンディング中。

3. マンション雅叙苑付近に手摺取り付け

【同所入り口の近くから坂の上、および坂の下に沿って縁石の位置に手摺を設ける】

7月22日関係者(区役所関係者、施工業者、町会)が現地で打ち合わせし、位置・末端処理など細部決定。現地工事(高さ約80cmの手摺)が、8月20日~29日行われる予定。

4. 目黒パークタワー付近の強風対策

現在の強風の実態について丁寧に説明、理解を得た。目黒駅前再開発による影響を町会が懸念していることも伝え、今後の対策のためには現在の風環境の実態を計測しておく必要性についても伝えた。

【当該場所には車道以外に区有地がないので、観測機器やポールを立てる場合は側面支援になる。駅前再開発には品川区も関与しているので、都市計画課・開発指導担当の青木氏に相談できるよう伝えておく。】

(参考までに、夕陽会より区長懇談会への申し入れ書を、3ページに掲載しておく。)

品川区長殿

ドレメ通り入り口強風対策のお願い

目黒パークタワー南側からドレメ通り北側一帯は、日常的に強風が通り抜ける難所になっています。雨の日には、突然強くなる風に煽られておちよこになった傘が、多数打ち捨てられています。高台でもあり、目黒川方向から行人坂を吹き上げる風はもとより、それなりに強い時もありました。しかしながら、三井住友銀行が120mの高さがあるパークタワーに建て替わってからは、吹き降ろす風とビルの隙間を通り抜ける風とがぶつかり合っ、お年寄りに限らず転ぶ人が出るほどの強風域と化しました。

また現在では、アマゾン日本本社がアルコタワー・アネックスに入居したので、歩行者交通は倍増していて、朝のラッシュ時は車道を歩かざるを得ないほど混雑しています。強雨風による危険は大きくなる一方です。夕陽会における理事会や総会でも、この数年来対策を望む声が増えています。

上述のとおり、現在でも許容範囲を超えた強風域に多くの人が通行している訳ですが、更に近隣では大きな再開発により145mもの高さのタワーが3棟着工されました。事業主による環境影響評価による予測でも、当該地域の風環境悪化が想定されています。（目黒駅前再開発組合による説明）

かかる事態を品川区におかれましてはご理解を頂き、対策を講じることをお願いいたします。夕陽会と夕陽ヶ丘街づくり協議会では、どのような対策が有効であるかを探るために、現況の風環境を一定期間観測することも検討しておりますが、この事業へのご支援もお願いいたします。

平成26年7月

夕陽会 会長 西 春雄



■東急敷地内のバイク不法駐車【磯部理事問題提起】

目黒川ガード下東急敷地内に、バイクが3~4台毎日違法駐車している。子どもが乗って遊んだためか(?)1台が倒れガソリンが漏れたため、消防車とパトカーを呼び対処してもらった。幸い大事に至らず済んだが、私有地のため警察も手が出せず、町会から東急に善処するよう申し入れた。

東急の回答:

【仮の対策を取る。秋までには本格的な柵を考える。】

■防犯カメラ黄色の旗の紐の補強、交換

防犯部の椎野・杉野・副会長・佐久間理事およびドレメの職員合計の4人の方達が、6月21日、7月26日の2回にわたって施工。しっかりと電柱に再固定されました。自宅付近で緩んだ箇所を発見された方は、自分達で応急処置をお願いします。



目黒駅前地区第一種市街地再開発事業

----計画概要・工事概要 説明会報告----

5月22日に説明会があり、全体で2.3haの計画地に3棟の高層ビルを建てる、五反田方面に抜ける花房山通りを15mに拡幅すると共に4m巾の歩道を新設することが説明された。

【3棟の概要】

- オフィス棟-----目黒道路沿いに建つ（既存ビル群とほぼ同位置）
地下2階／地上27階、高さ＝128.70m、低層階に商業施設と公益施設
- ノースレジデンス棟-----オフィス棟の南側に近接して建つ賃貸共同住宅・528戸
地下2階／地上40階、高さ＝145.31m、低層階に商業施設
- サウスレジデンス棟-----五反田寄りに庭園を挟んで建つ分譲共同住宅・417戸
地下2階／地上38階、高さ＝134.96m、免震工法

質疑では多くの質問が風環境の悪化を心配する内容だった。私たちの夕陽ヶ丘は多少の距離があるが、環境影響評価においても「とんき」付近で風の影響が1ランク悪化する旨の結果が出ており、パークタワー目黒付近への悪影響が憂慮される。

完成後に更に強風が引き起こされたときに、適切な対策ができるよう現在の風向き、風の強さを観測・記録しておくことが必要と思われる。（七沢 基）



解体工事開始時の駅前



計画地全容



完成予想図（白金側より見る）



位置図